

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 5 月 31 日

事業所名 放課後等デイサービス ぱびぷべほ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1		スペースはあるが、死角となる部分もある為、見守りや見回りを行いながら対応している。	学習スペース・子どもたちが遊べるスペースを区切りメリハリをつけている。また、個々に合わせた活動が提供できる様に工夫しています。
	2	職員の配置数は適切である	2	2		配置基準を遵守している。	必要性を感じていたスタッフの採用により、より質の良い支援に繋がって行きたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			スロープや手すり・室内のバリアフリーにて配慮している。	バリアフリー化しているので、安全に過ごせる様に配慮し支援していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	1	1	スタッフミーティングを行い意見交換を行っている。	参画しているが上手く活用出来てない。目標に関しては共有できているが、振り返りが少ない為、会議やミーティングを実施しスタッフ間の連携を図っていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	2		保護者の意見をスタッフミーティングで発信し共有している。	保護者勉強会やアンケートでの意見を踏まえ、スタッフミーティング等で保護者の意見を取り入れながら業務改善に繋げて行きたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			ホームページにて公開している。	ホームページに掲載し保護者へも周知していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3		協力会社による定期的な評価がある。	今後も第三者からの意見を聞きながら業務の改善に繋げて行きたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			年に4回の研修でいろんな分野に沿った内容の研修を行っている。	福祉に関する研修だけでなく、法律やリーダーシップ等の研修に参加する事ができています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	2	2		個々のニーズに合った支援を計画を作成している。	定期的にあセスメントを行い、個々のニーズに合わせた個別支援計画に取り入れている。
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	2		子どもたちの状況を共有できるようにになっている。	基本的なアセスメント使用しており、適応行動等の状況把握に努めていきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			朝のMTGの場で活動内容をみんなで考え取り組んでいる。	協力会社と共に立案し、マリンスポーツ等も入れながら活動内容を考えている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	1		子どもたちに必要な支援を考えてプログラムとして取り組む。また、曜日で固定している活動もある。	スタッフで意見を出し合い固定化や曜日で偏らない様に考えてみんなが楽しめる様に提供して行きたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	2		子どもたちに伸ばしてほしい所、経験して欲しい事等をスタッフで話し合い支援している。	スタッフで連携し、飽きがこない様なプログラムを考え支援している。今までに出来なかった事への挑戦をさせ成功体験に繋げて行きたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	2		状況に応じて計画を作成している。	その日の体調や情緒に波があるので、送迎時の様子等もスタッフで共有し個別活動・集団活動を組み合わせ支援している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1		活動前に流れや役割分担を確認し活動に入るようにしている。	日課の内容やスタッフの動きを確認している。ライン等での情報共有も行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		4		記録や連絡帳を記入しながら振り返りを行う。	支援終了後に全員での振り返りができていない為、情報共有しながら振り返りをして行きたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			支援計画に沿って記録記入している。	計画以外でもよかった点・気になった点は記入して確認できるようにしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	1		定期的に見直しを行っている。	定期的なモニタリングを行い個別支援計画書の見直しを行っていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
19		ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている		4		児童のニーズに合わせ、出来そうな活動を提供している。	ガイドラインに沿った活動が行えるようにスタッフ間で共有している。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			管理者・サビ管だけではなく、どのスタッフでも対応できる様にしている。	今後も管理者・児発管だけでなく、スタッフで情報共有しながら担当者会議に参加できる様にしていきたい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4			下校時間の変更等連絡が共有され、普段からのスタッフでも対応できる様にしている。	連絡調整ミスによる下校時間の間違いが起きないように保護者・学校・本人への調整を密におこなっている。急な下校時間変更時でもスムーズに対応できる様に報・連・相を心掛けている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		3	1	現在、医療的ケアが必要な児童なし。	今後、医療的ケアが必要な児童が入る事を考え、準備はしておきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	2		必要時には、情報の提供と共有を行っている。	引き継ぎ書類を作成し、情報提供できる様に心掛けていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	2			現時点では、該当児童なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2	1	定期的な研修を受けている。	今後も、専門機関と連携を取り研修を行っていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		1	3	頻度は少ないが、近くの児童館を利用している。	児童館の利用はあるが、障がいのない子どもとの交流がない為、積極的に交流して行きたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		1	3	参加の機会がなかった。	協議会への参加や町が実施する研修等の情報を逃さず、参加する機会を増やして行く。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			連絡帳アプリ・LINE・帰りの送迎時等に活動等の様子を話しコミュニケーションを図っている。	少しでも気になる点があれば、帰りの送迎の際に、様子等を報告し今後の支援に繋がるように相談していく。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	2	1	保護者向けの勉強会を実施している。	保護者の意見を取り入れ、多くの保護者が参加できる様な内容の勉強会を考えている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			契約や支援計画の変更の際は、細かく説明をしている。	契約の際に説明しているが、契約後も必要に応じ説明して行く。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			勉強会などを通して必要な助言や支援を行っている。	子育てに関する勉強会や案内等があれば必要に応じ情報提供をして行く。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4			保護者会はないが、子育てサロンとして勉強後BBQ等で交流を図っている。	勉強会への参加が少なくその後の交流会も少ない為、参加しやすい内容や時間帯も考え多くの保護者が参加できる様な事を計画していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			連絡帳やメール・ライン等にて相談できる様にしていく。相談が来た際は、すぐにスタッフで共有し適切に対応している。	苦情があり事業所だけでの解決が難しい場合は法人へも報告を行い早期解決していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			利用予定表や毎月のだよりにて活動内容を発信している。	ラインやメール等を上手く活用し発信していく。また、だより等も工夫して行きたい。
	35	個人情報に十分注意している	4			個別にファイリングし鍵付き棚にて保管している。	ファイルの出しっ放し等が見られるので、確実に片付けるように注意し個人情報に十分に配慮していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			連絡帳やライン・メールにて分かりやすく説明している。	子供達とはホワイトボードやタブレットにを活用し視覚化にて配慮している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
37		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	3	全然出来ていない。	地域住民を交えての事業を計画していない。 今後は地域住民とも交流図れるように計画をたて運営して行きたい。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	1	1	自然災害等のマニュアルを作成し配布したり、掲示したりしている。	保護者への通知が難しいが、公式ライン等を利用し発信、通知して行きたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	1		年に2回避難訓練の実施。	今回の津波避難指示があり、いつもの避難場所とは異なったため、発生状況により避難場所を考えなければいけない。また、ハザードマップを活用し避難場所の確認・避難訓練を行って行く。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			委員会を設置し、虐待防止の勉強会を行っている。	定期的に研修会を開催し知識を身につけていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1		契約時にアセスメントを行い、児童の特性を個別支援に組み入れ支援して行く。	利用開始時に保護者から承諾を得て本児の特性を理解し対応していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			契約時にアレルギー有無の確認を行い配慮している。	定期的にあレルギーに対するアセスメントを行う。病院受診後の情報提供をもらえる様に保護者との連携を図りおやつを提供をしていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			ヒヤリハットが起こった際はすぐに職員で共有している。	些細な事・ちょっとした気づきも直ぐに共有し、起こらないような予防策・対応策を取っていく。